

令和7年度開催 第44回草津市景観審議会 議事要旨

■日時：

令和7年12月24日（水）午後3時30分～午後4時45分

■場所：

草津市役所4階 行政委員会室

■出席委員：

秋山委員（会長）、上田委員、金澤委員、北村委員、鞍野委員、壽崎委員、関根委員、千葉委員、西尾委員、福山委員、村上委員、森川委員

■欠席委員：

奥村委員、内記委員、横江委員

■事務局：

草津市都市計画部 一浦部長、安土総括副部長

都市計画課 川原課長、富永係長、長谷川主査、岩井主任

■傍聴者：なし

■会議に付した事項：

議事1 くさつ百景の選定について

議事2 色彩基準の検討について

1. 開会

【一浦部長】 <開会あいさつ>

2. 審議会の公開・非公開について

当審議会の公開、非公開の取り扱いについて、事務局より説明。

草津市景観審議会は、草津市景観審議会の運営に関する事務処理要領第3条第1項に基づき、原則公開となっているが、同条に定める非公開事由に該当する場合は、会長が会議に諮り、非公開とすることができることとなっている。

会長より、当議事内容については非公開にする事由はなく、審議経過の透明性を確保する

という観点からも当審議会を公開にすべきと提案があり、委員一同了承。当審議会は公開で行うこととされた。

3. 議事概要

議事1、2について、各委員の意見を踏まえて、事業を進めていくこととした。

主な意見および質疑は以下のとおり。

議事1 くさつ百景の選定について

【事務局】

<資料について説明>

【委員】

一般投票で活用するLINEアンケートの登録者が2万600人ということであるが、登録されている方だけに向けたものでことが足りるのか。意識的に市の方針等に興味がある方や市に関わりを持つ意思のある方多いと思うので、偏りが出ないか。

【事務局】

LINEアンケートについては、ごみの出し方、子育てや福祉制度等幅広く行政から情報を発信しているので、意識の高い方に偏ることははあるかと思うが、属性的には幅広い年代の方が応募していただけるのではないかと考えている。

【委員】

今回の応募期間が夏終わりから秋にかけてになるが、春はどうされるのかお伺いしたい。

【事務局】

応募いただいた写真の中には桜の写真等もあり、季節を問わず幅広い写真を御応募いただいたが、タイムリーな写真の応募が多かったため、来年度以降も継続して募集をしていきたいと考えている。

議事2 色彩基準の検討について

【事務局】

<資料について説明>

【委員】

今後、いろんな素材のものが外壁として出てくると思うが、例外を出すときりがないので、

一旦はこの形が妥当ではないかと思う。

【委員】

シミュレーションをしていただいた結果が非常に説得力のある資料になっていると思うし、検討結果も妥当であると思う。

【会長】

今後、草津市の雰囲気を変えていくような一つのきっかけになるための基礎的な調査とそれに基づいた提案であるが、色々な変化に対応できるような方法を考えていただいたので、非常に説得力があると思う。

【委員】

事務局はこのルールを「草津を変えていく」ために作るのか「草津を守る」ために作るのかその辺りの考えをお伺いしたい。

【事務局】

どちらもあると考えている。景観は調和が大事であるので、地域との調和を目指すところと、今は市内一律同じ基準になっているので、地域差に合わせた良い景観を創っていきたいという思いもある。

【委員】

企業のイメージカラーというのがあると思うが、例えばローソンさんとかだと京都では鮮やかな青ではなく、少し落ち着いた紺色や茶色っぽくなっているが、そういう色彩についてはどうに考えておられるか。

【事務局】

重点地区になれば、京都市と同じように色の変更をお願いすることがあるが、一般的な地域では、コーポレートカラーが全く使えないということではなく、景観計画の中で強調色として、どのような色でも使える部分を持っている。これは一面あたり 5 %までという上限があるが、その 5%については、彩度や明度のしがらみ無くどのような色でも使えるようにしている。

【委員】

この後 4 月 1 日に施行で周知をホームページとパンフレット作成で行うとあるが、パンフレットはどのようなものを作成する予定かお伺いしたい。

【事務局】

現段階では、予算の関係で確約できないが、「ぱれっと滋賀」のように現地の写真が載っていて、具体的にお勧めしている色を視覚的に分かりやすく伝えられるものを目指している。

4. 閉会

【安土総括副部長】 <閉会あいさつ>